



千住真理子

ヴァイオリン・リサイタル

デビュー50周年記念

ありがとうの感謝を込めて

Program

- 黒人霊歌：アメイジング・グレイス
- J.S.バッハ：G線上のアリア
- パッヘルベル：カノン
- カッチーニ：アヴェ・マリア
- エルガー：愛の挨拶
- クライスラー：愛の悲しみ
- クライスラー：愛の喜び
- クライスラー：プニャーニの様式による前奏曲とアレグロ
- ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲より 第18変奏
- ドルドラ：想い出
- マスネ：タイスの瞑想曲
- デ・クルティス/千住明編：帰れソレントへ
- ゲーゼ/千住明編：ジュラシー
- カタロニア民謡：鳥の歌
- スコットランド民謡/千住明編：蛍の光
- モンティ：チャルダッシュ

*曲目が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ピアノ：山洞 智

2025

10.24(金)

開演 19:00 開場 18:30

和歌山県民文化会館 小ホール

©Kiyotaka Saito (SCOPE)

5,000円 プレミアム [全席指定]

※未就学児入場不可 一時保育(有料)をご希望の方は、公演の8日前までお申込ください。

●チケット販売

一般販売(プレイガイド)令和7年8月1日(金)10時～
けんぶん友の会先行電話予約：令和7年7月25日(金)10時～

主催/和歌山県、一般財団法人和歌山県文化振興財団

お問い合わせ/和歌山県民文化会館 TEL:073-436-1331

【プレイガイド】

- 和歌山県民文化会館 073-436-1331
- ローソンチケット (Lコード:52485)

*和歌山県民文化会館でご予約いただいた入場券は、次の施設でもお引き取りできます。

- 粉河ふるさとセンター 0736-73-3312
- かつらぎ総合文化会館 0736-22-0303
- 県立橋本体育館 0736-32-9660
- 御坊市民文化会館 0738-23-4881
- 紀南文化会館 0739-25-3033





デビューから50年のヴァイオリニスト人生。

山あり谷ありの険しい道のりを、疾走したり歩いたり、
時に道に迷い遭難すればひとに助けられ、涙流せば友達がそばにいてくれた。

苦楽を共にした父母も恩師も、今はもういないけど、
相棒ストラディヴァリウス“デュランティ”がいてくれる。

いま奏でる音は、この50年のわたしの全て。

この音色をあなたの心に届けたい。精一杯の「ありがとう」をこめて――

 千住 真理子

Mariko Senju (Violin)

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。バガニニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。これまでに多くのCDをリリース。最近では2023年山田洋次監督作品「こんにちは、母さん」のサウンドトラックに参加。また千住明のプロデュースによるアルバム「ARIAS」、2024年はデビュー当時の音源も収録した「ベスト&レア」アルバムをリリース。2025年はデビュー50周年を迎え全国で演奏会を行う。春にはデビューアルバムと同じくCD「メンデルスゾーン&チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲」を発売。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ
<https://marikosenju.com/>



©並口悦民

山岡 智 Satoshi Sando (Piano)

4歳からピアノを14歳から作曲を学ぶ。1993年東京芸術大学大学院修了。90年大学より安宅賞受賞。91年第60回日本音楽コンクール作曲部門首位、あわせて安田賞受賞。その後フランス政府給費留学生として渡仏。パリ国立高等音楽院にてさらに研鑽を積む。

作曲と演奏の双方にわたり活動を展開、また両者をつなぐ新曲の初演も多数。ピアニストとしては独奏以外でも、とくに室内楽分野で内外のトップアーティストの共演者として絶大な信頼を寄せられている。

97年8月に帰国。98年8月には国際交流基金派遣で南米ブラジル、アルゼンチンの各地まで演奏旅行にでかける。現在、東京音楽大学准教授、東京芸術大学非常勤講師。

